

2024 年 12 月 11 日

報道機関 各位

長崎県内の生産者と長大生が考える ニッポンフードシフト「長大生とかたらんば」出前講座を開催

九州農政局長崎県拠点が主催する出前講座「長大生とかたらんば」が、12月13日（金）に長崎大学経済学部で開催されます。本講座は、農林水産省が推進する官民協働の新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト※」の一環として、経済学部の学生を対象に実施されるものです。

長崎大学経済学部では、「現代の経済・経営の諸問題を解決できる実践的エコノミストの養成」を教育理念に掲げ、社会課題に取り組む人材の育成を目指しています。

本講座では、長崎県内で活躍する生産者を講師に迎え、地域農業の現状や課題について講義形式で解説し、その後グループワークを行います。経済学部生約 140 名が参加予定です。次世代を担う Z 世代の学生たちが「食」や「農業」に関する地域課題に主体的に向き合い、九州・長崎の農林水産業への理解を深めるきっかけとなることが期待されます。

当日の講座の取材をご希望の場合は、事前に下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

開催日時：2024 年 12月13日(金) 8:50～12:00

場 所：長崎大学経済学部（片淵キャンパス）新館 201 教室

プログラム（講師紹介：別紙参照）

1. 講義開始 8 : 5 0
2. 講義①、グループワーク、発表 8 : 5 5 ～ 9 : 5 5
テーマ：「九州農業の現状と改正基本法」
講 師：九州農政局企画調整室長 金田 直樹氏
3. 講義②、講義③ 1 0 : 0 5 ～ 1 0 : 5 5
テーマ：「野中果樹園とこれからの挑戦」
講 師：(株)野中果樹園取締役 野中 麻美氏
テーマ：「畜産業の6次産業化と生産を続けるための消費者理解」
講 師：(株)橙（オレンジ）代表取締役 御厨 晴美氏
4. グループワーク、発表、全体質疑等 ～ 1 2 : 0 0

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学経済学事務課総務係：末永 世津子 095-820-6314 ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp

【参考情報】

※食から日本を考える。ニッポンフードシフト

農林水産省が展開する消費者と生産者が一体となり農業・農村を支える意識を高め、行動変容を促すことを目的とした取り組み。

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>



【会場案内】



長崎市片淵 4-2-1（長崎大学片淵キャンパス）

お知らせ

令和 6 年 1 2 月 9 日

報道関係者 各位

九州農政局長崎県拠点

長崎大学経済学部で出前講座を実施します

農林水産省が展開する官民協働の新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」は、食と農業との距離を近づけるため、食と環境を支える農業・農村への国民の理解を醸成することを目指し、農林水産業の諸課題について、消費者と生産者が一体となって自分たちの課題として捉え、行動変容に繋げていくことを目的としています。

また、本運動では、特に次世代を担う「Z世代（1990年代後半以降の生まれ）」を主なターゲットとして想定し、Z世代への情報発信だけでなくZ世代が主体となって情報を発信・共有できる取組を強化しているところです。

この様な趣旨のもと、この度、国立大学法人長崎大学経済学部と長崎県内の女性農業者と連携して、出前講座を実施することとなりました。

つきましては、下記のとおり実施しますので、是非取材くださいますようお願いいたします。

1 開催日時

令和6年12月13日（金） 8：50～12：00

2 プログラムおよび目安時間（講師等は別添チラシをご参照ください）

（1）講義開始（8:50～）

（2）講義①、グループワーク、発表（8:55～9:55）

「九州農業の現状と改正基本法」

九州農政局企画調整室長 金田 直樹

(3) 講義②、講義③ (10:05~10:55)

「野中果樹園とこれからの挑戦」

(株) 野中果樹園取締役 野中 麻美

「畜産業の6次産業化と生産を続けるための消費者理解」

(株) 橙(オレンジ) 代表取締役 御厨 晴美

(4) グループワーク、発表、全体質疑等 (~12:00)

3 報道機関の皆様へ

出前講座は公開とし、取材やカメラ撮影は可能です。

取材を希望される報道関係者の方は、**12月12日(木曜日) 12時00分まで**
に電話にてお申込み下さい。(報道機関名、ご氏名、ご連絡先をお聞きます)

【取材申込み】

九州農政局長崎県拠点地方参事官室

長崎市岩川町16-16 長崎地方合同庁舎

電話：**095-845-7121** (代表)

担当：**野村、中川**

九州農政局長崎県拠点出前講座 ～長大生と かたらんば～

日 時：令和 6 年 12 月 13 日（金） 8:50－12:00
場 所：国立大学法人長崎大学片淵キャンパス（長崎市片淵4-2-1）
新館201教室



本年6月に改正された「改正食料・農業・農村基本法」は国民一人一人の「食料安全保障」を基本理念の柱として位置付けるとともに、生産、流通・加工、消費の各段階の関係者が連携する食料システムという概念を新たに規定しました。

食料の持続的な供給を行っていくためには、消費者を含む幅広い関係者の皆様の食と環境を支える農業・農村への理解が必要です。特に、次世代を担う「Z世代」の中心となる大学生は一人暮らしを始めるなど、「食」について主体的に行動し始める時期です。今回、長崎大学様、野中果樹園様、ミクリヤ畜産様の御協力の下、長崎大学経済学部の学生の皆さんに産学官で連携し、「食」や「農」にまつわる情報を伝えることで、農林水産業が抱える問題や農林水産施策への理解を深め、行動変容に繋げていただくよう、出前講座を実施します。

プログラム概要

講演①「九州農業の現状と改正基本法」

九州農政局 企画調整室長 **金田 直樹**

農林水産省入省後、環境行政や消費者行政に従事。
九州農業の現状と四半世紀ぶりに改正された
食料・農業・農村基本法を事例も交えてお話しします！



講演②「野中果樹園とこれからの挑戦」

(株) 野中果樹園 取締役 **野中 麻美**

果樹を中心に多様な農業を展開。
観光事業者とのタイアップで農業体験の受け入れを
地域の農家と連携して行うなど、「農業の楽しさ」
を発信中！ 長崎市農業委員としても活躍中！
お腹に宿る3人目のお子さんもお話します！



講演③「畜産業の6次産業化と生産を続けるための消費者理解」

(株) 橙（オレンジ）代表取締役 **御厨 晴美**

「我が家で育った牛を最後まで大切に扱いたい」
という想いで経産牛の再肥育など特色ある畜産を
展開。

3人の子の母として、「食とは命をいただくこと
である」を伝える絵本を12月7日に出版。



経済学部160名の学生は、3つの講義について
グループディスカッションにより議論を交わします。